

# 新型コロナウイルス感染症の発生状況（富山県）

【第 33 週（2024/8/12～8/18）感染症発生動向調査速報値（2024/8/21 時点）】

定点医療機関※新規患者報告数： **390** 人、定点医療機関当たり **8.86** 人

※インフルエンザ/COVID-19定点（小児科28定点、内科16定点）

図1. COVID-19週別発生動向の推移（全国、富山県）

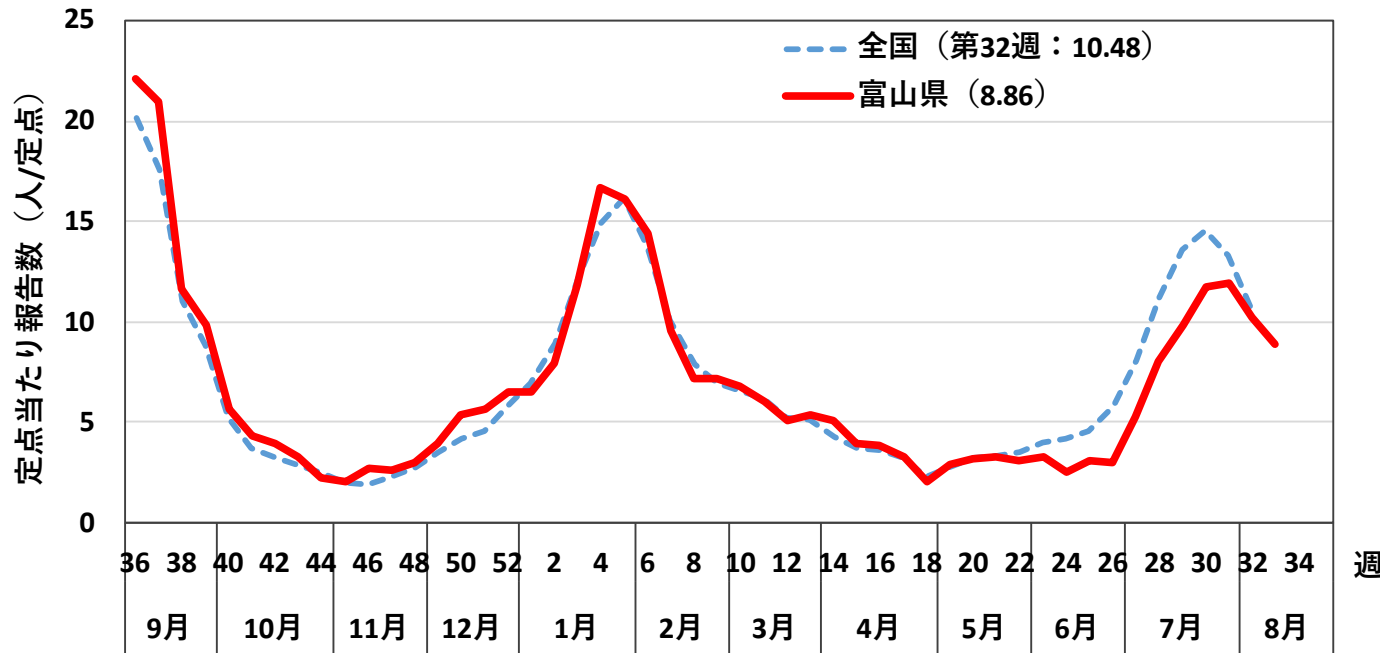
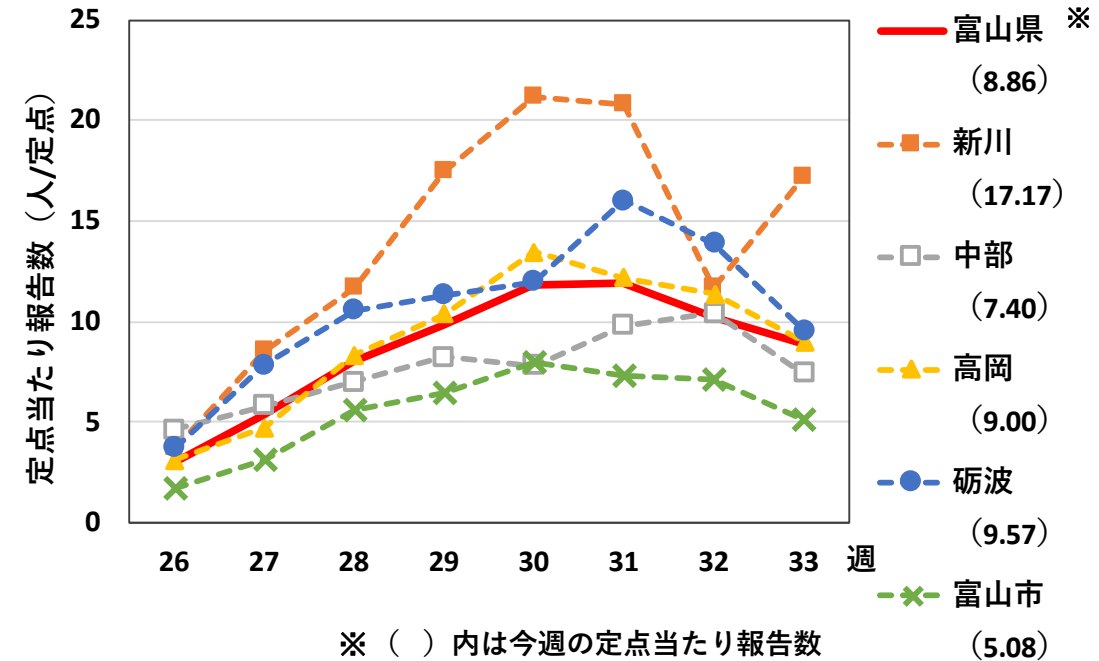


図2. 厚生センター（保健所）管内別発生動向の推移



※（ ）内は今週の定点当たり報告数

- ・ 今週の定点医療機関当たり報告数は8.86人/定点であり、先週（10.21人/定点）から減少した（図1）。
- ・ 厚生センター・保健所管内別にみると、新川管内で増加したが、そのほかの管内では減少した。（図2）。

### 図3. 年齢階級別COVID-19報告数の推移（富山県）

図3-1. <20歳

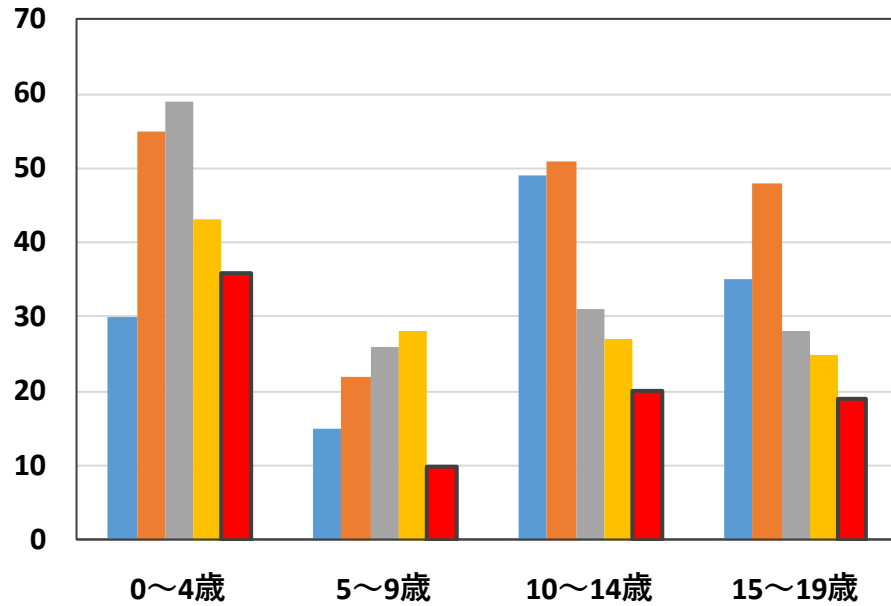
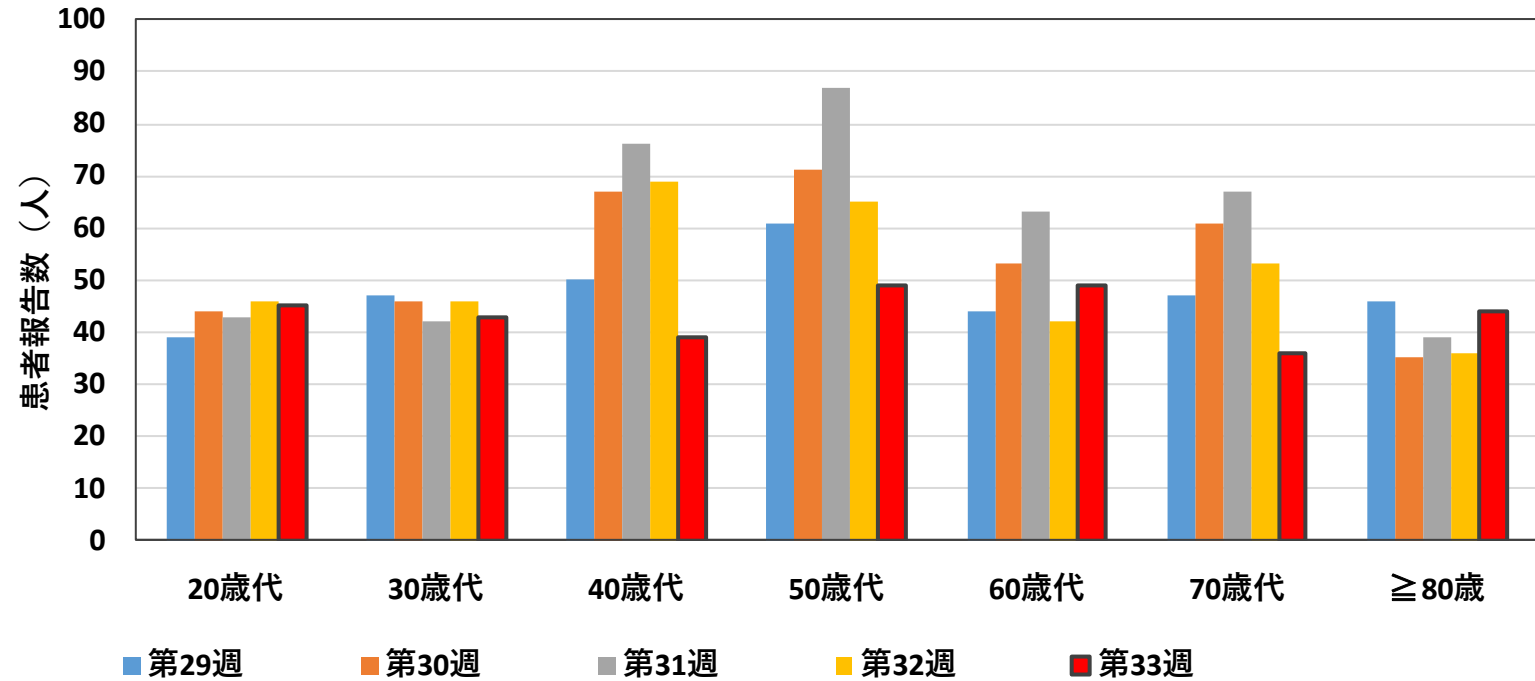


図3-2. ≥20歳



※定点医療機関は小児科が多い（小児科：28定点、内科：16定点）ことから、小児の報告数は成人と比較して過大評価となることに留意する必要がある。

- 20歳未満、40～50歳代、70歳代で先週から減少し、それ以外の各年齢層では先週からほぼ横ばいであった。

図4. COVID-19入院サーベイランス  
患者報告数の推移（富山県）

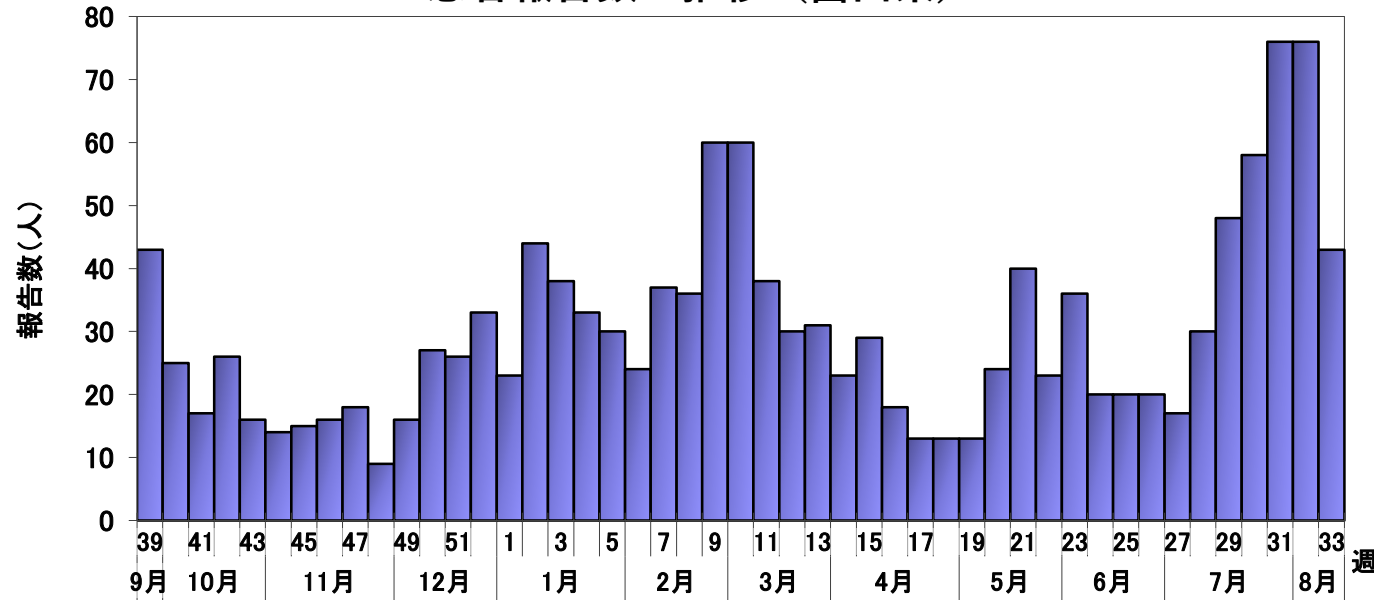
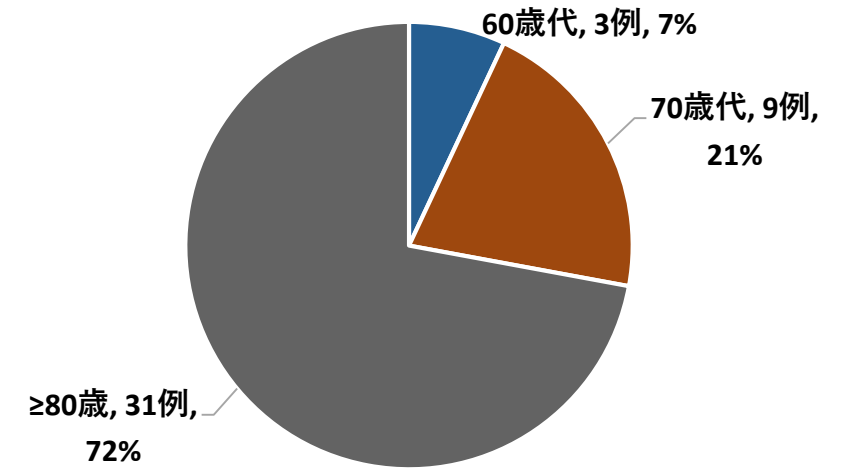


図5.COVID-19入院サーベイランス  
年代分布（第33週、43例）



※割合 (%) は四捨五入した整数で表記されるため、合計が100%にならない場合がある。

- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象とするCOVID-19入院サーベイランスでは、第33週に43例の入院報告があり、先週（76例）から減少した（図4）。
- 患者の年代は、60歳代が3例、70歳代が9例、80歳以上が31例で、すべて60歳以上であった（図5）。
- COVID-19の患者報告数は、県内では第27週以降増加傾向となっていたが、先週、今週と2週連続して減少した。今週はお盆休み等で診療日数が少ない医療機関もあり、流行状況を過小評価している可能性が考えられる。引き続き今後の感染動向を注視する必要がある。